

ご利用ガイド

第 1 章 導入の流れ

第 2 章 運用の流れ

第 3 章 メインメニューとダッシュボード

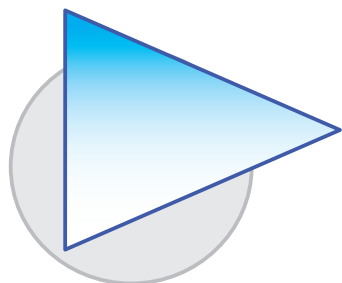
第 4 章 取引先

第 5 章 精算処理

第 6 章 支払

第 7 章 債務残高の確認

- 税制等の改正や操作上の改良のため、「[ご利用ガイド](#)」の表記と実際の画面・操作方法が異なる場合があります。この場合は、実際の画面・操作方法を優先させていただきます。
- 奉行クラウド、奉行クラウド Edge、勘定奉行、債権奉行、債務奉行は、株式会社オービック ビジネスコンサルタントの登録商標です。
- その他、記載されている会社名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。



目次

第1章 導入の流れ

導入のイメージ	3	ページ
導入の流れ	5	ページ

第2章 運用の流れ

運用の流れ	13	ページ
-------------	----	-----

第3章 メインメニューとダッシュボード

メインメニューの使い方	14	ページ
ダッシュボードの使い方	15	ページ

第4章 取引先

精算先を登録する	16	ページ
----------------	----	-----

第5章 精算処理

債務伝票を起票する	18	ページ
精算締めをする	22	ページ

第6章 支払

支払消込をする	23	ページ
債務を計上せず、すぐに支払う	24	ページ
銀行振込をする	25	ページ

第 7 章 債務残高の確認

精算先の元帳を確認する	26 ページ
債務残高を確認する	27 ページ
支払予定を確認する	27 ページ

第1章

導入の流れ

『債務奉行クラウド』で取引を入力する前までに、あらかじめ登録しておく導入の流れを確認しましょう。

導入のイメージ

『債務奉行クラウド』をはじめて起動すると、以下の画面が表示されます。

初期登録

導入に必要な内容
以下の内容をご確認ください。

法人情報

法人番号 9 0000 0000 0000
法人番号を後で入力する場合は、初期表示のまま進んでください。

法人名 O B C 商事株式会社

法人名カナ オービーシーショウジカブシキカイシャ

業種 選択してください

初期値設定

☒ 初期設定のまま運用する
☐ 建設業会計の設定に更新する

建設業会計

登録(E)

(上記の画面は、後で [法人情報]-[法人情報]-[法人情報] メニューから確認・変更できます。)

初期値設定について

はじめて起動したときにだけ、初期値を選択できます。「建設業会計の設定に更新する」を選択すると、初期登録されている科目名を建設業会計用の名称に変更したり、プロジェクトマスターの名称を「工事」に変更できます。

② 設定や確認が完了したらチェックを付けます。
チェックを付けると、画面右上の導入状況の進捗が進みます。

『奉行 11/10』からデータをコンバートして設定が完了している箇所は、チェックが付いています。

① クリックすると、設定メニューが起動します。

導入状況

11/10 個中 1 個が完了しています

導入に必要な内容

☒ 法人情報
法人情報を設定しましょう。
法人番号、法人名、法人名カナ、業種などの情報を追加で設定します。

☒ 業種
業種を選択しましょう。
業種を選択すると、業種別の科目名や業種別の項目名が自動的に設定されます。

☐ 運用設定
使用する精算先区分や調整科目の名称などを指定しましょう。

☒ 債権管理
債権管理の項目名を設定しましょう。
債権管理の項目名を設定すると、債権管理の項目名が自動的に設定されます。

☒ 債務管理
債務管理の項目名を設定しましょう。
債務管理の項目名を設定すると、債務管理の項目名が自動的に設定されます。

☒ 債権取引
債権取引の項目名を設定しましょう。
債権取引の項目名を設定すると、債権取引の項目名が自動的に設定されます。

③ 画面にしたがって導入し、チェックしていきます。
チェック項目（導入項目）は、5～12 ページ参照



途中で導入時の確認・設定を終了した場合は、
ダッシュボードの「導入状況」から続きを再開できます。



導入の流れ

■ 導入状況画面の導入項目

① 法人情報を設定する

[法人情報] メニュー

法人番号や法人名、住所や代表者名などを設定します。



② 差出名を設定する

[差出名] メニュー

支払通知書・債務残高確認書などに印字する自社の名称や住所を設定します。



③ 桁数などを確認する

メインメニュー右上の  アイコンの
[運用設定] メニュー

必要に応じて、「部門」や「取引先」など使用するマスターの名称や桁数などを変更します。



④ 債務管理規程を設定する

[債務管理規程] メニュー

自社の経理規程にしたがって、伝票 No. や精算 No. の付番方法や、調整科目などを設定します。



⑤ 債務管理科目を登録する

[債務管理科目] メニュー

● 債務管理科目

あらかじめ登録されている債務管理科目を
経理規程と照らしあわせ、必要に応じて
変更します。

[債務管理補助科目] メニュー

● 債務管理補助科目

債務管理科目の内訳として補助科目を
登録できます。



⑥ 債務取引を登録する

[債務取引] メニュー

経理規程にしたがって、債務伝票で使用する
購入科目と債務科目の組み合わせを、債務取引
として登録します。



⑦ 支払方法を登録する

[支払方法] メニュー

経理規程にしたがって、債務の支払方法ごとに、
支払伝票で使用する科目を登録します。



⑧ 月次集計期間を登録する

[月次集計期間] メニュー

あらかじめ1日～末日で集計するパターンが
登録されています。
精算先の締日などに応じて、集計期間の
パターンを複数登録できます。



⑨ 部門を登録する

[部門] メニュー

● 部門

部門を登録すると、管理帳票を支店や事業所ごとに集計できます。

B システム

S システム

奉行V ERP

[部門グループ] メニュー

● 部門グループ

複数の部門を部門グループにまとめることで、部門グループで絞り込んで帳票を確認できます。



⑩ プロジェクトを登録する

[プロジェクト] メニュー

● プロジェクト

プロジェクトを登録すると、管理帳票をプロジェクト別に集計できます。

[プロジェクト区分] メニュー

● プロジェクト区分

プロジェクト区分でプロジェクトを分けると、管理帳票をプロジェクト区分別に集計できます。

[工程／工種] メニュー

● 工程／工種

プロジェクトの作業内訳として工程／工種を登録すると、管理帳票を工程／工種別に集計できます。



⑪ 担当者を登録する

[担当者] メニュー

[担当者区分] メニュー



⑫ 摘要を登録する

[摘要] メニュー



⑬ 任意項目を登録する

[任意項目] メニュー



⑭ 取引銀行の法人口座を登録する

[法人口座] メニュー

[銀行手数料] メニュー



● 担当者

自社の担当者を登録します。担当者を登録すると、管理帳票を担当者別に集計できます。

● 担当者区分

担当者区分で担当者を分けると、管理帳票を担当者区分別に集計できます。

伝票入力時に頻繁に入力する摘要を登録します。

商品名など、債務伝票の明細に入力する任意項目を登録します。

登録すると、支払消込や精算先元帳で集計できます。

● 法人口座

債務の支払いに使用する出金口座など、自社の口座の情報を登録します。

● 銀行手数料

金融機関ごとに振込手数料を登録します。登録すると、法人口座と振込先口座の組み合わせや振込金額などから、自動的に振込手数料を計算できます。

⑮ 精算先を登録する

[精算先] メニュー

● 精算先

精算先名や住所、支払条件など精算先の情報を登録します。

[精算先区分] メニュー

● 精算先区分

精算先区分で精算先を分けると、管理帳票を精算先区分別に集計できます。

[精算締日] メニュー

● 精算締日

あらかじめ登録されている精算締日を確認し、必要に応じて変更します。

メニュー名が以下のとおりになります。

S システム

奉行V ERP

[精算先] メニュー → [仕入先] メニュー

[精算先区分] メニュー → [仕入先区分] メニュー

(ただし、[運用設定] メニューの [取引先管理] ページで、仕入先の名称を「精算先」に変更すると、[精算先] メニューや [精算先区分] メニューと表示されます。)



⑯ 取引先グループを登録する

[取引先グループ] メニュー

複数の精算先をまとめて取引先グループとして登録します。

取引先グループを登録すると、請求書の送付元と異なる出金先への支払などを管理できます。



⑰ 商品を登録する

[商品] メニュー

商品名や単位、単価などを登録します。



S システム

奉行V ERP

⑱ 価格を登録する

[価格] メニュー

**⑲ 債務伝票に引き継ぐ
商品の情報を登録する**

[債務連携] メニュー



任意の計算式で金額や数量を計算する場合に、
計算式を登録します。

債務伝票に引き継ぐ、仕入伝票の商品情報を、
商品ごとに関連付けて登録します。

⑳ 開始残高を登録する

[債務残高] メニュー

[前払金残高] メニュー

[仮払金残高] メニュー



『債務奉行クラウド』の運用開始時点の債務残高・
前払金残高・仮払金残高を登録します。

【『勘定奉行クラウド』と連携する場合】

② 仕訳伝票コードを設定する

[仕訳伝票コード設定] メニュー

仕訳伝票で使用する勘定科目や取引先などについて、『債務奉行クラウド』のマスターと『勘定奉行クラウド』のマスターの関連付けを設定します。

『勘定奉行クラウド』のマスター連携機能について

『勘定奉行クラウド』の [運用設定] メニューでマスター連携の機能を有効にすると、『債務奉行クラウド』で登録した精算先が『勘定奉行クラウド』の取引先としても登録され、自動で関連付けが設定されます。

詳細は、『勘定奉行クラウド』のヘルプ「マスター連携とは」をご参照ください。



【複数の利用者と利用する場合】

② 利用者を追加する

メインメニュー右上の  アイコンの
[利用者] メニュー

『債務奉行クラウド』を利用する他の利用者を追加します。

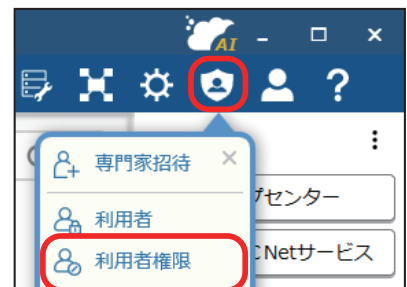
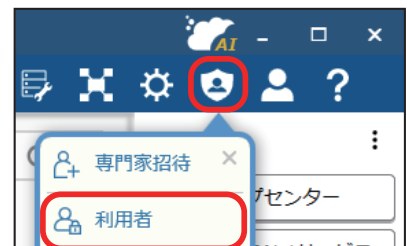
(利用者の追加には、別途ライセンスが必要です。)



③ 権限を設定する

メインメニュー右上の  アイコンの
[利用者権限] メニュー

利用者によって入力・参照できる部門を制限する場合は、権限を設定します。



【専門家とデータを共有する場合】



[専門家招待] メニューから専門家を招待することで、専門家と一緒に『債務奉行クラウド』を利用でき、『債務奉行クラウド』のデータを共有できます。

手順の詳細は、ヘルプの「専門家招待」をご参照ください。

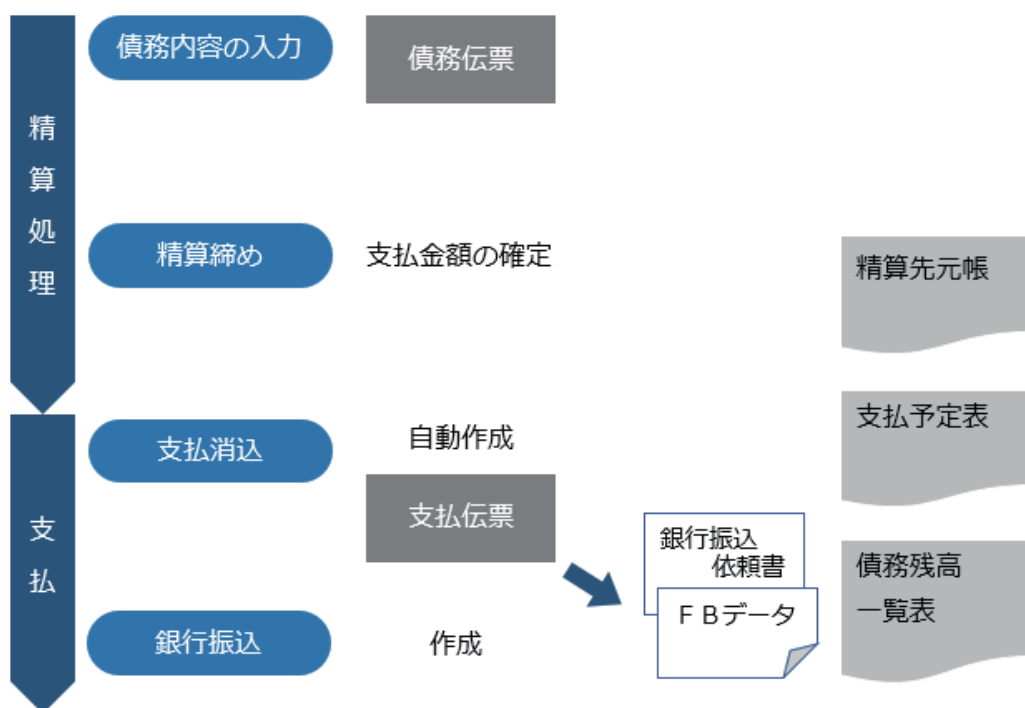
(あらかじめ「専門家ライセンス」のユーザー登録とライセンスキーの発行を済ませておいてください。)



運用の流れ

導入後の運用の流れを確認しましょう。

運用の流れ

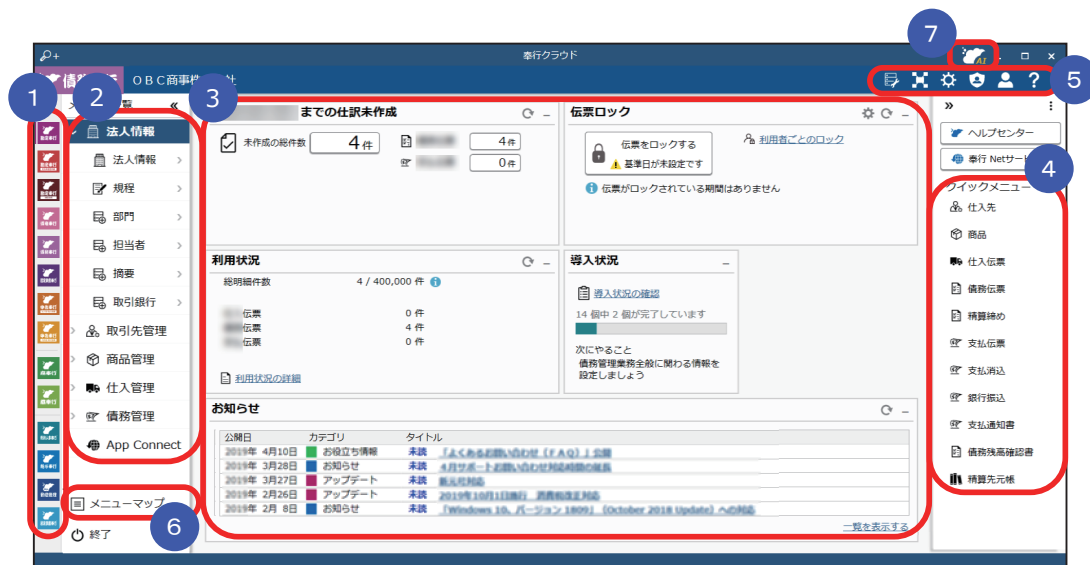


第3章

メインメニューとダッシュボード

メインメニューとダッシュボードの使い方を確認しましょう。

メインメニューの使い方



- 1 複数の『奉行クラウド』をお使いの場合は、ここでサービスを切り替えます。
- 2 すべてのメニューはここから起動します。
- 3 「ダッシュボード」で業務に関する情報をすぐに確認できます。
内容は次ページをご参照ください。
- 4 よく使うメニューをピン留めしておくと、ここからすぐにメニューを開けます。
メニュー名の後ろの  からピン留めします。

商品	総明細件数
1. 商品	 クイックメニューにピン留めする

- 5 汎用データの作成や受入、運用の設定やセキュリティの設定をします。
- 6 すべてのメニューを一覧で確認できます。Excel にも出力できます。
- 7 『奉行クラウド』に関する質問をすると、AI が回答します。

ダッシュボードの使い方

弊社からの「お知らせ」や「導入状況」など、業務に関する情報が確認できます。また、本日までの伝票で仕訳伝票が未作成の伝票がある場合は、この画面からスムーズに起票作業へ進めます。

詳細については、ヘルプの「ダッシュボードの使い方」をご参照ください。

The screenshot shows a dashboard with five main sections, each highlighted with a red border and a blue circle containing a number:

- 1 9月30日（金）までの仕訳未作成**: A section for checking unposted vouchers. It includes a checkbox for '未作成の総件数' (Total number of unposted vouchers) with a value of 12, and three filters for '伝票' (Voucher) with counts of 6, 1, and 5.
- 2 伝票ロック**: A section for locking vouchers. It includes a button '伝票をロックする' (Lock voucher) and a date range '～ 年 4月30日'. Below it, it says '伝票がロックされている期間はありません' (There is no period during which vouchers are locked).
- 3 利用状況**: A section for usage status. It shows '総明細件数' (Total number of detailed items) as 17 / 400,000. Below it, there are two bars for '伝票' (Voucher) with counts of 10 and 7.
- 4 導入状況**: A section for implementation status. It includes a button '導入状況の確認' (Check implementation status) and a progress bar showing '17 個中 15 個が完了しています' (15 out of 17 items are completed).
- 5 お知らせ**: A section for notices. It contains a table with columns '公開日' (Release date), 'カテゴリ' (Category), and 'タイトル' (Title). The table lists several notices, including 'お祝い情報' (Celebration information), 'お知らせ' (Notice), 'アップデート' (Update), and 'お知らせ' (Notice).

1 本日までの仕訳未作成

本日までの伝票で仕訳伝票が未作成の伝票があるかを一目で確認できます。「未作成の総件数」をクリックすると、仕訳伝票をまとめて作成できます。

2 伝票ロック

伝票を登録、修正、削除できないように、ロックをかけます。

3 利用状況

伝票やマスターの登録件数を確認できます。

4 導入状況

運用前の設定がどこまで完了しているか、進捗が一目で把握できます。「導入状況の確認」をクリックすると、他にどんな設定が必要か、設定の流れが確認できます。

5 お知らせ

サービスのアップデート情報や弊社からの時事情報など、旬な情報を確認できます。

第4章

取引先

精算先の住所や、支払予定（支払予定日と支払方法）、振込先口座などを設定します。

精算先を登録する

[取引先管理]-[精算先]-[精算先]メニュー

精算先との様々な取引形態に応じて登録できます。

例えば、[精算]ページでは、支払予定について以下の設定ができます。

取引の都度支払うか、一定期間で締めて支払うかなどを設定できます。

支払金額ごとに、異なる支払予定を設定できます。また、支払金額を分割して、分割した金額ごとに支払予定を設定できます。

[精算先]メニューでは、以下のような精算先も設定できます。

- 一時的に取引する精算先がある場合は、「スポット精算先」として登録できます。
一時的な取引が発生した際に、伝票で「スポット精算先」を入力し、精算先名を都度変更して利用すると便利です。
- 複数の精算先をまとめて、精算したり支払う場合は、精算先に「取引先コード」を設定します。
[取引先グループ]メニューで、「取引先コード」を指定して取引先グループを登録します。

<支払明細書を発行する場合>

S システム

奉行V ERP

- 仕入先・精算先の登録

[取引先管理]-[精算先]-[精算先]メニューは
[取引先管理]-[仕入先]-[仕入先]メニューと表示されます。

取引している仕入先と精算先が異なる場合（仕入先は支店で、精算先は本店など）は、仕入先に精算先を設定します。

（ただし、[運用設定]メニューの[取引先管理]ページで、仕入先の名称を「精算先」に変更すると、[取引先管理]-[精算先]-[精算先]メニューと表示されます。）

- 商品の登録

[商品管理]-[商品]-[商品]メニューで登録します。

第5章

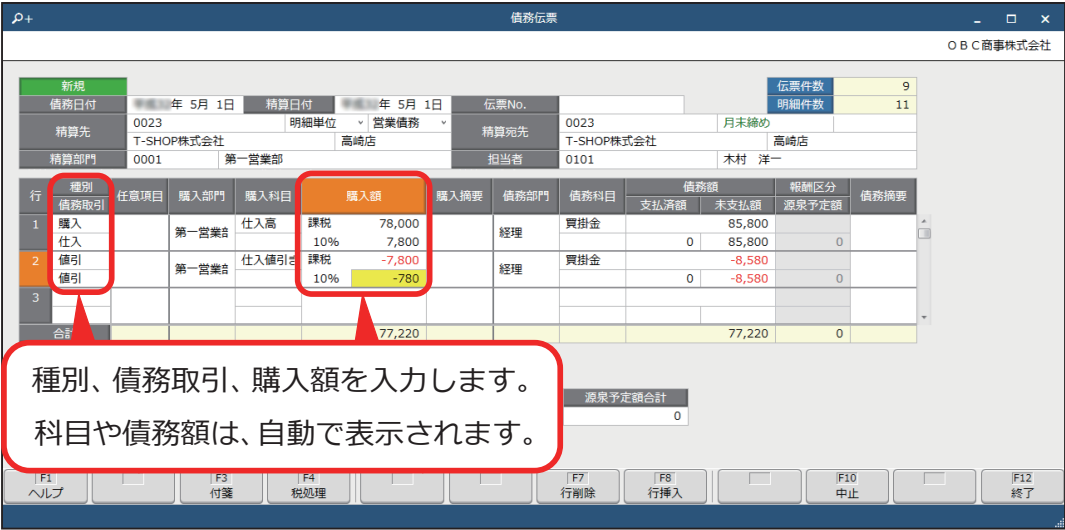
精算処理

債務伝票を起票し、債務を計上します。
また、精算締めを行います。

債務伝票を起票する

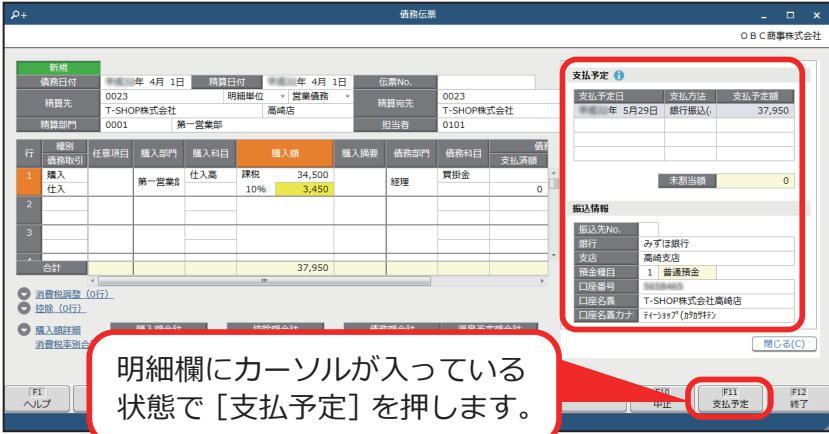
[債務管理]-[精算処理]-[債務伝票]メニュー

債務の内容を伝票形式で入力します。



種別、債務取引、購入額を入力します。
科目や債務額は、自動で表示されます。

都度精算の場合は、[支払予定]を押すと、支払予定を確認できます。
今回の取引だけスポット的に支払予定を変更することもできます。

明細欄にカーソルが入っている状態で[支払予定]を押します。

<伝票の入力に関する便利な機能>

●各入力項目の指定方法

各入力欄で[Space]キーを押して検索画面を表示する以外に、直接文字を入力して検索することもできます。
項目の名称がわかっている場合に便利です。

新規
年 5月 1日 精算日
精算先 太平 0001 太平洋食品株式会社
精算部門

●明細入力時の補助機能

取引の入力時や参照時に、付箋を貼ってメモを残せます。
伝票を検索する際に、付箋の色やメモの内容を指定して検索できます。

債務伝票
3 月末締め
HOP株式会社
1 木村 洋
科目 債務額
支払済額 未支払額
金 60,500
0 60,500
買掛金 16,500
0 16,500
合計 77,000 77,000

行番号をマウスでクリックすると、行コピー、空白行挿入、行削除などがスムーズにできます。

●金額「000」を入力する

金額入力欄で[/]キーまたは[,]キーを入力すると、「000」が入力されます。

購入額
課税 10% 1
課税 10% 1,000

<伝票のチェック機能>

B システム

S システム

奉行V ERP

[精算先] メニューで精算先ごとに購入限度額を設定し、購入限度額を超えていないかをチェックできます。該当した場合は、警告を表示するか、伝票を登録できないように設定できます。

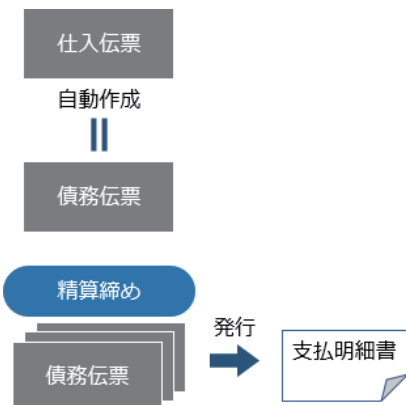
[債務管理規程] メニューで
購入限度額チェックについて設定します。

<支払明細書を発行する場合>

S システム

奉行V ERP

仕入伝票を起票して債務を計上します。伝票区分が「債務計上」の仕入伝票を登録すると、仕入内容にもとづく債務情報が、債務伝票として自動で作成されます。



奉行Edge 発行請求書DXクラウド

『奉行 Edge 発行請求書 DX クラウド』

弊社の『奉行 Edge 発行請求書 DX クラウド』をご契約いただくことで、支払明細書の PDF を作成し、仕入先にメールで配信できます。帳票のデジタル化と帳票配信の自動化で、発行業務の手間を減らせます。詳しくは、<https://www.obc.co.jp/bugyo-edge/invoice>

<『勘定奉行クラウド』をご利用の場合>

- 『債務奉行クラウド』で登録した債務伝票や支払伝票などをもとに仕訳伝票を作成し、『勘定奉行クラウド』で起票できます。



詳細は、ヘルプの「目的から探す」の「仕訳伝票の作成」をご参照ください。

- 『勘定奉行クラウド』から買掛金や未払金などの科目が計上されている仕訳明細を抽出して債務伝票を登録できます。

〔債務仕訳抽出〕メニューまたは〔債務伝票〕メニューで、『勘定奉行クラウド』の仕訳明細（買掛金・未払金など）を抽出します。

対象	仕訳伝票日付	仕訳伝票No.	取引先	金額	精算日付	精算先コード	精算先名	種別	債務取引	購入科目
✓	年 4月 1日	000009	株式会	272,160	年 4月 1日	0101	株式会社五	0 購入		仕入高
✓	年 4月 3日	000010	八王子	108,000	年 4月 3日	0112	八王子衣料	0 購入		仕入高
✓	年 4月 8日	000007	八王子	179,280	年 4月 8日	0112	八王子衣料	0 購入		仕入高
✓	年 4月14日	000008	新宿物	43,545	年 4月14日	0102	新宿物産株	0 購入		仕入高
✓	年 4月17日	000011	川崎商	50,760	年 4月17日	0104	川崎商會株	0 購入		仕入高
✓	年 4月25日	000002	株式会	21,600	年 4月25日	0101	株式会社五	0 購入		仕入高
✓	年 4月25日	000003	名古屋	486,000	年 4月25日	0105	名古屋興業	0 購入		仕入高
✓	年 4月25日	000006	川崎商	453,600	年 4月25日	0104	川崎商會株	0 購入		仕入高
✓	年 4月30日	000005	その他	851,040	年 4月30日	0000	その他	0 購入		仕入高



取引先の支払条件をもとに、支払予定が作成されます。

<『債権奉行クラウド』をご利用の場合>

〔債務管理〕-〔ネットティング〕-〔相殺消込〕メニューで、未支払の債務と未回収の債権を相殺して消込できます。

精算締めをする

[債務管理]-[精算処理]-[精算締め]メニュー

締め精算をする場合は、精算締めを行い、精算金額を確定します。

精算締め - 条件設定

パターン名: 精算締め (締め)

基本

項目選択

出力順

処理区分

● 締め

○ 参照

○ 取消

集計範囲

精算締め: 99 月末締め

精算期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 4 月 30 日

精算先

条件	検索項目	指定方法	読み内容	操作
01	精算先コード	都置指定	初 ~ 最後	

組み合わせ指定

精算No.

次回No.を確認する

月末締めなど、締め日と精算期間を指定します。

精算締め (締め)

OB C 商事株式会社

精算期間: 平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 28 年 5 月 31 日

締め可 締め不可 すべて

対象	精算先コード	精算先略称	前回締め日	前回支払残高	支払額	支払調整額	差引繰越額	取扱収入額	消費税額等
☒	0002	株式会社岩手産	平成 28 年 4 月 30 日	161,380	55,000	0	106,380	68,700	6,870
☒	0003	株式会社茨城産	平成 28 年 4 月 30 日	268,534	261,484	0	7,050	84,500	8,450
☒	0004	群馬事務機株式	平成 28 年 4 月 30 日	181,940	0	0	181,940	87,550	8,755
☒	0005	埼玉商事株式会	平成 28 年 4 月 30 日	56,430	56,430	0	0	106,500	10,650
☒	0023	T-SHOP株式会	平成 28 年 4 月 30 日	39,204	20,000	0	19,204	218,400	21,840

支払予定を確認、変更できます。

対象伝票を確認できます。

実行

支払予定

精算対象伝票

全解除

再集計

消費税

条件設定

閉じる

精算先にチェックを付けて、[実行] を押します。
処理が完了すると、対象伝票は修正・削除できなくなります。

第6章

支払

支払う債務を消し込み、支払伝票を起票します。

支払消込をする

[債務管理]-[支払処理]-[支払消込]メニュー

未支払の債務を集計し、支払う債務を消し込みます。



消込	精算宛先	債務区分	支払予定日	支払方法	支払日付	支払方法	法人口座	支払額	充当額
☒	株式会社岩手産業		年 6月30日	銀行振込(	年 6月30日	銀行振込(	三菱UFJ	75,570	0
☒	株式会社茨城電機		年 5月29日	銀行振込(	年 5月29日	銀行振込(	三菱UFJ	100,000	0
☒	群馬事務機株式会社		年 6月30日	銀行振込(	年 6月30日	銀行振込(	名古屋銀行	181,940	0
☒	埼玉商事株式会社		年 6月30日	銀行振込(	年 6月30日	銀行振込(	三菱UFJ	117,150	0
☒	T-SHOP株式会社	営業債務	年 5月29日	銀行振込(	年 5月29日	銀行振込(	みずほ銀行	37,950	0
☒	T-SHOP株式会社		年 5月29日	銀行振込(	年 5月29日	銀行振込(	三菱UFJ	19,204	0
計									

消込対象にチェックを付けて、
[実行] を押します。
実行すると、支払伝票が起票されます。

債務を計上せず、すぐに支払う

[債務管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー

買掛金、未払金などの債務を計上しないで、すぐに支払う場合は、伝票区分を「即時購入」にして支払伝票を登録します。

「即時購入」を選択します。

行	種別	支払先 支払部門	科目	金額	税率	摘要
1	購入	第一営業部	賃借料	15,000	10%	
2						
3						

購入額詳細	即時購入額	出金額	手数料合計
消費税別合計	15,000	15,000	0

種別や科目、金額などを入力します。

S システム 奉行V ERP

<電子記録債務・ファクタリング債務・支払手形・期日支払の てん末管理をする場合>

電子記録債務・ファクタリング債務・支払手形・期日支払の支払方法で支払伝票を登録した後に、[電子記録債務]・[ファクタリング債務]・[支払手形]・[期日支払]メニューで電子記録債務などの各データを作成できます。

作成した各データは、てん末管理などができます。

詳細は、ヘルプの「目的から探す」の「電子記録債務・ファクタリング債務・支払手形・期日支払」をご参照ください。

銀行振込をする

[債務管理]-[支払処理]-[銀行振込]メニュー

銀行振込の支払伝票を集約して、振込データを作成します。
作成後は、支払伝票の振込方法（E・B・A・T・M・窓口）に応じて、以下が出力されます。

- 全国銀行協会（全銀協）制定フォーマットにあわせた、
総合振込のファームバンキングデータ（以下「F Bデータ」）
- 銀行振込依頼書

銀行振込 - 条件設定

パターン名: 銀行振込データ (確定・出力) ☐ 個人利用

基本
集計条件
利用情報
項目選択
出力順

処理選択
☒ 確定・出力
☐ 参照
☐ 確定解除

振込単位
☒ 出金先別
☐ 取引先グループ別
☐ 支払伝票別

「窓口」出力方法
☒ 銀行振込依頼書を印刷する
☐ F B ファイルを出力する

画面(Y)



銀行振込データ (確定・出力)

法人口座

対象	振込指定日	振込件数	振込額	法人口座コード	法人口座名	銀行名	支店名	預金種目	口座番号	口座名義
☒	年 5月31日	3	2,399,650	203	三井住友銀行 新宿支店	三井住友銀行 新宿支店	普通預金	2154564	O B C 銀行	
☒	年 5月31日	1	635,800	203	三井住友銀行 新宿支店	三井住友銀行 新宿支店	普通預金	2154564	O B C 銀行	
☒	年 6月30日	1	1,173,700	203	三井住友銀行 新宿支店	三井住友銀行 新宿支店	普通預金	2154564	O B C 銀行	
3件			4,209,150							

上段: 振込データ

銀行振込明細

対象	口座名義	口座名義カナ	振込額	手数料負担	支払手数料	銀行名	支店名	預金種目	口座番号
☒	五反田屋敷株式会社	ゴタンダサンギョウ	400,950	当方負担	0	三井住友銀行	新宿支店	当座預金	5479533
☒	埼玉商事株式会社	サイタマショウジ	1,155,000	当方負担	0	りそな銀行	新宿支店	当座預金	3012463
☒	八王子通信株式会社	ハチオウジツウシン	843,700	当方負担	0	三井住友銀行	八王子支店	当座預金	2590126
3件			2,399,650		0				

下段: 振込データの明細

F1 ヘルプ F2 実行 F4 支払伝票 F5 手数料 F8 全選択 F10 条件設定 F12 閉じる

チェックを付けて [実行] を押すと、振込データが確定されます。
続いて、F B データや銀行振込依頼書が出力されます。

第7章

債務残高の確認

債務残高や支払予定を確認します。

精算先の元帳を確認する

[債務管理]-[管理帳票]-[精算先元帳]メニュー
仕入内容ごとに支払状況を確認します。

Excel へのファイル出力や印刷、PDF での出力ができます。

伝票をダブルクリック、または [伝票] を押すと、債務伝票や支払伝票へジャンプできます。

精算先元帳のフォームを編集できます。

ここから編集画面を開くことができます。



編集画面では、マスターや金額合計などの項目を自由に配置できます。

— 禁 無 断 転 載 —

2 0 2 5 年 4 月 1 1 日 第 1 7 版

著 者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>

